

水草研究会第35回全国集会発表プログラム及び要旨目次

●公開講演会(8月24日(土)13:00-14:00)

『利根川水系の水草を守る』

小幡和男(ミュージアムパーク茨城県自然博物館)茨城県の水生植物-レッドリストからの警告-
田中法生(国立科学博物館筑波実験植物園)水草の保全-植物園には何ができるのか-

●一般講演(8月24日(土)14:15-16:30)

1. 14:15- 『青森県平滝沼湖沼群のホシクサ属フロラと分類』
高田 順(秋田自然史研究会)、保田 謙太郎(秋田県立大・生物資源科学)
2. 14:30- 『福島県裏磐梯地域の典型的な湖沼がもつ本来の水生植物相』
首藤 光太郎(福島大・院・共生システム理工)
3. 14:45- 『霞ヶ浦の堤脚水路に生育する水生植物』
片桐 浩司・大寄 真弓(土木研究所)
4. 15:00- 『富士北麓、河口湖の水草、車軸藻類、環境の季節変化』
渡邊広樹・芹澤如比古(山梨大学大学院教育学研究科)、芹澤(松山)和世・加藤将(神戸大学大学院理学研究科)
5. 15:15- 『手賀沼(千葉県)南岸ハス繁茂域の変遷』
林 紀男(千葉県立中央博)
6. 15:30- 『宍道湖ではなぜ沈水植物が復活したのか』
山室 真澄(東京大)
7. 15:45- 『コハクチョウの食圧が、マコモ及びマコモ群落に与える影響』
渡辺 朝一
8. 16:00- 『ミズユキノシタの繁殖生態』
真志田 仁・角野 康郎(神戸大・院・理)
9. 16:15- 『遊離炭酸と炭酸水素イオンの利用から見た水草の光合成特性』
山ノ内 崇志・石川 慎吾(高知大・院)

●ポスターセッション(8月24日(土)16:30-17:30)

- P1. 『富士北麓、本栖湖の水生植物と環境の既往資料解析』
田口 由美(山梨大・教育人間科学)、渡邊 広樹(山梨大・院・教育)
芹澤(松山)和世・芹澤 如比古(山梨大・教育人間科学)
- P2. 『愛媛県における車軸藻類の分布と系統』
藤原 陽一郎(NPO法人愛媛生態系保全管理)
- P3. 『湧水河川柿田川におけるオオカワヂシャの生態特性』
丹羽 俊一(国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所)
- P4. 『日本産ガマ属3種の種子発芽特性』
倉園 知広・角野 康郎(神戸大・院・理)
- P5. 『山形県に生育するホソバタマミクリの現状とアシボソネクイハムシの関係』
武浪 秀子(西川町大井沢自然博)
- P6. 『接合藻ミカヅキモにおける生殖様式の進化』
土金 勇樹・関本 弘之(日本女子大・理・物質生物科学)
- P7. 『いくつかの自然農法水田に見られる水田雑草について』
嶺田 拓也(農研機構・農工研)、田中 裕之・酒井 賢治(秀明自然農法ネットワーク)
- P8. 『沈水植物セキショウモの大量増殖と緑肥的農業利用』
山崎 修平・長坂 克彦・望月 久美子(山梨県総合農業技術センター)、吉澤 一家(山梨県衛生環境研究所)
- P9. 『水生植物に対する化学物質の影響評価へのクロロフィル遅延発光の利用』
加藤 貴央・石原 悟(農林水産消費安全技術センター)
勝又 政和・竹内 彩乃・小林 祐子(浜松ホトニクス(株)中央研究所)
- P10. 『水生シダ植物サンショウモを用いた化学物質の影響評価法』
石原 悟・加藤 貴央(農林水産消費安全技術センター・農業検査部)
- P11. 『霞ヶ浦における沈水植物再生に向けた取り組み』
大寄 真弓・片桐 浩司(土木研究所)
- P12. 『野生絶滅種コシガヤホシクサの野生復帰にむけた個体数変動と好適生育環境条件の解析』
市川 沙央里・鈴木康平・熊田那央(筑波大・生命環境)、永田翔(アクアキャンプ)
田中法生(国立科博・植物園)、上條隆志(筑波大・生命環境)
- P13. 『コシガヤホシクサ保全における調査方法の確立』
永田 翔(特定非営利活動法人アクアキャンプ)
- P14. 『大滝末男スライドコレクション』
田中 法生(国立科博・植物園)